



令和3年6月21日  
令和3年度学校だより NO.12①  
加古川市立平荘小学校

## 兵庫県の「緊急事態宣言」が解除になりました

6月20日まで発令されている兵庫県への「緊急事態宣言」は解除となりました。解除後は、「まん延防止等重点措置の対象地域」として、加古川市は指定されています。学校でも、引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、健康安全を第一に子どもたちに関わっていきます。

## 失敗は成功のもと

感染対策を講じながら、行事を実施しています。「行事は人を育てる」の言葉の通り、子どもたちは、行事を通して少しずつ少しずつ成長しています。「失敗は成功のもと」を合言葉に、「昨日よりも今日、今日よりも明日…」「1回目よりも2回目、2回目よりも3回目…」と学びを積んでいます。失敗した時にこそ学びがあると思います。「なぜ、失敗をしてしまったのかな。」「失敗をしないようにするにはどうすればよいのかな。」等、子どもたち自身が考え行動することが成長のポイントだと考えています。

子どもたちには、失敗をおそれず、成功に繋がる失敗の経験を大切にしてほしいと思います。

## 支えてくださっている存在

先週も、いろいろと行事がありました。子どもたちには、「行事ができて楽しかったな。」という感想で終わるのではなく、学びは当然のこと、行事を支えてくださっている方々の存在に気づいてくれることを期待しています。

3・4年生の環境体験学習では、6月17日（木）に、約2時間子どもたちは田植えをしました。イネを手に取り、昔ながらの田植えを体験しました。この2時間の田植え体験の裏（見えないところ）には、あぜの草刈りや育苗箱のイネの世話、代かきや田んぼの水の管理等、地域の方々多くのサポートがありました。子どもたちには、当日の田植えのお礼だけではなく、田植えを行うためにいろいろとご尽力いただいた方々の存在にも目を向けることができると大変うれしいです。

また、6月18日（金）には、2年生が、校区たんけんを行いました。校区にあるお店や施設の方々にお世話になりました。ご協力いただいたお店や施設の方々には、2年生のたんけん（訪問）のために、いろいろと準備をして待っていてくださいました。本当にありがたいことです。

子どもたちの学びのために、多くの方々のご協力やご支援をいただいています。「当たり前」と思わず、「支えていただいていることに気づき、感謝の気持ちを持てる」子どもたちに育ててほしいと思います。

### 『行為の意味』

宮澤 章二

—— あなたの〈こころ〉はどんな形ですか  
とひとに聞かれても答えようがない  
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない  
けれど、ほんとうに見えないのであろうか  
確かに〈こころ〉はだれにも見えない  
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ  
それは、人に対する積極的な行為だから  
同じように胸の中の〈思い〉は見えない  
けれど〈思いやり〉はだれにも見える  
それも人に対する積極的な行為なのだから  
あたたかい心が あたたかい行為になり  
やさしい思いが やさしい行為になるとき  
〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる  
—— それは、人が人として生きることだ

※宮澤 章二『行為の意味』参照

自分の〈心〉や〈思い〉が、自分の〈行為〉として表現されるのですね。「あたたかい心」「やさしい思い」「感謝の気持ち」等々、目に見える形で伝えたいですね。

《6年生：選書会》



6月14日（月）、6年生対象に選書会を行いました。10人1グループで行いました。

《3・4年生 代かき見学》



《3・4年生 田植え体験》



6月17日（木）、地域の方々に教えていただきながら、田植えを行いました。地域の皆様、ご指導をありがとうございました。